

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形 及び出来ば え II. 品質	土工事(切 土、盛土、 築堤等工 事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。			<input type="checkbox"/>	13. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 法面に有害な亀裂がない。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 伐除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. その他(理由:)					
				「品質関係の試験結果のばらつき」					
<input type="checkbox"/>		15. ばらつきが50%以内							
<input type="checkbox"/>		16. ばらつきが80%以内							
<input type="checkbox"/>		17. ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点 数								

評価率	ばらつきで判断可能			
	50%以内	80%以内	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	
75%以上90%未満	a'	b	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	
60%未満	b'	c	c	

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形 及び出来ば え II. 品質	用排水路 (コンク リート等の 2次製品、 柵渠)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)								
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 製品の構造が設計条件を満たしていることが確認できる。				10. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 材料の品質が証明書類で確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 製品に損傷及び補修痕がないことが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 転倒や崩壊等がないよう製品の仮置を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 設計図書で示された通り施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 継ぎ目の施工は入念に行われていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないよう施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 基礎砂利等の転圧は適切に行われていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. その他(理由:)						
				「品質関係の試験結果のばらつき」						
		<input type="checkbox"/>		12. ばらつきが50%以内						
<input type="checkbox"/>		13. ばらつきが80%以内								
<input type="checkbox"/>		14. ばらつきが80%を超える								
	評価率									
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	点 数									

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形 及び出来ば え II. 品質	護岸・根 固・水制工 事、排水路 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）								
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。			<input type="checkbox"/>	16. 品質関係の測定方 法又は測定値が不適切 であったため、工事監 督員が文書で改善指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	17. 品質関係の測定 方法又は測定値が不 適切であったため、 検査員が修補指示を 行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 材料の品質が、証明書類で確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 有害なクラックがない。						
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. その他（理由： _____）						
		「品質関係の試験結果のばらつき」								
<input type="checkbox"/>		18. ばらつきが50%以内								
<input type="checkbox"/>		19. ばらつきが80%以内								
<input type="checkbox"/>		20. ばらつきが80%を超える								
	評価率									
	評 定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	点 数									

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形 及び出来 ばえ II. 品質	鋼橋工事 (RC床版 工事はコン クリート構 造物に準ず る。堰、水 門等工場製 作を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」 【工場製作関係】			評価	評価	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 鋼材は種別・品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。			23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	24. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 母材、溶接部等に補修痕や欠陥部のないことが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 素地調整程度1種を行った場合、4時間以内に塗装を実施していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 仮組立は、各部が正しく工作され、所定の形状、寸法精度であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. その他(理由:)					
				【架設関係】					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 高力ボルトの据め付けを中心から外側に向かって行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. その他(理由:)					
				「品質関係の試験結果のばらつき」					
		<input type="checkbox"/>		25. ばらつきが50%以内					
<input type="checkbox"/>		26. ばらつきが80%以内							
<input type="checkbox"/>		27. ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び出来ば え II. 品質	砂防構造物 工事及び地 すべり防止 工事（集水 井戸工事を 含む）	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【共通】			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。			35. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	36. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 材料の品質が証明書類で確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 鉄筋及び鋼材の品質が証明書類で確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 有害なクラックがない。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. その他（理由： _____）				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【砂防構造物工事に適用】				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. コンクリート打設時までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. その他（理由： _____）				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【地すべり対策工事（土工関係）】				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 切土面が設計図書で定められた勾配で施工されている。				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. 盛土面が設計図書で定められた寸法で施工されている。				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24. 施工法面が平滑に仕上がっている。						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25. その他（理由： _____）						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27. ライナープレートの組み立てにあたり、編心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。						

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a		b	c	d	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ば え	地すべり防止 工事			優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている
		該当	評価	「評価対象項目」			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 地山との取り合いがよい。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 天端及び端部の仕上げが良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 全体的な美観が良い。			
	評価						
	点数						

該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
1項目以上評価・・・c	
評価項目なし・・・d	

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形 及び出来ば え	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【路床・路盤工関係】			<input type="checkbox"/> 27. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 28. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 路床及び路盤工(凍上抑制層を含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. その他（理由： _____）					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【アスファルト舗装工関係】					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. アスファルト混合物の品質が、配合設計等により確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. その他（理由： _____）					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	【コンクリート舗装工関係】					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 舗装工の施工に先立って、路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25. チェアー及びダウエルバー等を損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26. その他（理由： _____）							

<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
評価率	
評 定	
点 数	

「品質関係の試験結果のばらつき」

29. ばらつきが50%以内

30. ばらつきが80%以内

31. ばらつきが80%を超える

※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。

「判断基準」

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形 及び出来ば え	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）					評価 <input type="checkbox"/>	31. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価 <input type="checkbox"/>
		法面工事	該当	評価	「評価対象項目」 【共通】 1. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） 2. 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 3. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起これないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 4. 雨水による崩壊が起これないように、法面にシートをかける等の排水対策を実施していることが確認できる。 5. その他（理由： _____） 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 6. 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 7. ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 8. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 9. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 10. 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 12. その他（理由： _____） 【コンクリート又はモルタル吹付け工関係】 13. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 15. 金網が破損を生じていないことが確認できる。 16. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 17. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 18. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 19. 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 20. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 21. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 22. その他（理由： _____） 【現場打枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】 23. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 24. アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 25. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 26. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 27. 枠内に空隙がないことが確認できる。 28. 層間にはく離がないことが確認できる。 29. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。				

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30. その他（理由： _____)
		「品質関係の試験結果のばらつき」
<input type="checkbox"/>		33. ばらつきが50%以内
<input type="checkbox"/>		34. ばらつきが80%以内
<input type="checkbox"/>		35. ばらつきが80%を超える
評価率		
評 定		※評価対象となる項目が2項目以下の場合はc評価とする。
点 数		

「判断基準」

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評 価 率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に「レ点」を付すこと。

(土木・検査員用)

評価項目 細 別	工種	a		b	c	d	
3. 出来形 及び出来ば え Ⅲ. 出来ば え	法面工事			優れている。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている
		該当	評価	「評価対象項目」			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 通りが良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 植生、吹付等の状態が均一である。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 端部処理が良い。			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 全体的な美観が良い。			
	評価						
	点数						

該当項目が3～4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
1項目以上評価・・・c	
評価項目なし・・・d	